



座談会 持続可能な日野郡を拓く

自然環境に恵まれた日野郡。全国的な人口減少社会の中で、将来的ビジョンと情熱を胸に、持続可能な地域実現のため活動を行っている3名の方にお集まりいただき、座談会を開催しました。

新しい日野郡を拓くヒントを一緒に見つけてみませんか。



日野町 青年農業者 遠藤 和也さん
奥大山地美恵 副会長 宇田川 保さん
ホームランド多里 専務理事 福原 伴美さん
日野振興センター 日野振興局長 八幡 徳弘

あいち

【八幡】まず、自己紹介を兼ねて、これまでの活動についてお話しいただきたいと思っています。

1 自己紹介、これまでの活動

【八幡】まず、自己紹介を兼ねて、これまでの活動についてお話しいただきたいと思っています。

奥大山地美恵 副会長 宇田川 保さん
世界のジビエで地域貢献！

日野産高を卒業後、食品会社で47年間勤務、その間世界各国を回りました。定年後、日野町の農業委員を務める中、有害鳥獣被害に困っている農業者を助けようと、奥大山地美恵を設立しました。ジビエなら、長年培った技術を活かして、農地を守り、町の振興にもなると考えたからです。

今日は、地元スーパーで販売中の、ジビエのロケットをお持ちしました。奥大山地美恵で解体したイノシシとシカのミンチが使われていますので、ぜひ味わってみてください。

ホームランド多里 専務理事 福原 伴美さん
ジビエのロケットは、臭みもなく、深い味わいですね。

私は、日南町森林組合に37年ほど勤務し、現在はホームランド多里で専務理事として、レストランでの接客、農産物の販売、経理、税務など多くの業務を担当しています。ホームランド多里は、地域の女性6名で運営しています。人口減少に伴い、レストランの利用者が減少、以前ほど収益が上がらないのが悩みです。

町内は知り合いが多いためか、雪かきなど様々な頼まれごとへの対応にも追われ、多忙な毎日です。

日野町 青年農業者 遠藤 和也さん
青パパイアで日野町を賑やかに！

日野産高卒業後、建設業を経て、就農3年目です。周りの農家がほとんどいなくなり、この土地は誰が守っていくのかと考えるようになりました。白ネギ、ブロッコリー、水稻の栽培をするうちに農業が一番楽しいと感じるようになり、本格的な就農を決意しました。



まず、地域に人がいなくなる時代のなかで、先を見据えた将来像をみんなが考えていかなければいけないと思います。

【遠藤】 郡で集まり、行政に声を届ける機会を！

10年後には、町単位では行政が成り立たない時代が来ると予測しています。町により地域性や方針の相違はあるものの、日野郡として取り組むべきことがあるはずなんです。

我々ひとりひとりの声は小さいけれど、行政や地域に意見を届ける機会を、これからも設けていただくことを期待します。

クロージング

【八幡】 持続可能な日野郡を築くために努力されている皆さんを、日野振興センターも応援します！

お話を伺い、一つは、皆さんが後継者の確保に困っておられる、もう一つは、事業によっては、町の単位を超えてより広域の日野郡としての施策を望んでおられるということがわかりました。

将来を見通すことは難しいが、やりたことはたくさんある、そのような皆さんの意見を聞く機会を今後も設け、微力ながら一つ一つお役に立てるよう日野振興センターも頑張っていきたいと思っています。

本日は、ありがとうございました。

最近、栽培の手間が少なく且つ格好いいものはないかと探し、青パパイアの栽培を始めました。青パパイアを新たな特産品にするため、関係機関と協力して計画を進めているところです。地元で根付く活動をやっていきたいと思っています。

2 将来やってみたいこと

【八幡】次に、将来の目標、それを通じて地域にどのような刺激を与えたいか伺います。

【宇田川】 後継者を育て、古民家でジビエ！
定年後、日野町へ恩返しするために取組んでいるジビエですが、週末を中心に17名のメンバーがボランティアで協力してくれています。また、福祉施設などには、無償でジビエを提供することもあります。

将来は、奥大山地美恵を後継者に引き継ぎ、大山を望む古民家で、地元の野菜やジビエの料理を提供したいという夢があります。20年後を見据え、行政と協力し地域を守っていかねばなりません。地美恵を安心して任せられる後継者が重要です。

【福原】 お年寄りが安心して暮らせるシニアハウスを作りたい！

多里では高齢の一人暮らしの方が多く、一日一食だけでもバランスのとれた食事をしてほしいとの思いから、ホームランド多里でお弁当の配達サービスを行っています。しかし、地域からます

ます人が減っていくという現実を見据えると、配達サービスや雪かきなどの支援も展望が見えづらく、一人暮らしが困難になる状況が予測できます。
将来的には多里に高齢者用のシェアハウスを建て、雪深い冬の間は一緒に暮らし、一室に集まって食事をしたり、ホームランド多里から弁当を配達してもらい、そのようなことも考えないといけない時期にきています。
ホームランド多里は地域に必要と言ってもらっていますが、厳しい経営が続いています。後継者確保、存続のために、皆さんにもっと利用していただき、よりよい経営体質にしていきたいです。とにかく目の前のことが多忙すぎて、先々の戦略を立てる時間がないのが悩みです。



【遠藤】 自分が先駆者になって、次に続く人材を育成したい！

農業を始める際にサポートがあまりなく、苦労した経験から、次に続く人のため道筋をつけていきたいと考えています。補助金制度も町によってまちまちで、郡内でも制度のある町に若い人が集まってきます。意欲のある人に魅力を感じてもらえるよう、自分が

3 地域の将来像

先駆者にならないといけないと思っています。

青パパイアの栽培はその二環です。米養価が高く、台湾料理、カレーなどの料理に使われ、石鹸も作れます。地域の「道の駅」などに置いて、町の賑わいを生み出すことが目標です。

【八幡】最後に、この地域の将来ビジョンや、その中で果たしたい役割をお聞きたいと思っています。

【宇田川】 子どもたちと故郷を食で繋ぐ！

日野小・中の子どもたちに、美味しいジビエを給食として提供しています。食を通じ、日野町のよいところを記憶に残してもらい、将来故郷に帰って来てくれればよいと思っています。



【福原】 日野郡としての将来像をみんなで描きたい！

最近では、防除作業も法人に委託しドローンで行うご時世です。行政側には、より広域の郡単位の視点で全体的に物事を考えていただきたいと思います。

日野郡の未来へ向けて 日野振興センター 所長 越智 浩明



碧き水面の溪流と緑輝く美しい山並みに生まれ、心優しい人々が暮らす小さくても凛とした街並みや集落。日野郡3町は幾多の喜びや試練が織りなす60年余の歴史を紡いでこられました。

この故郷が末永く輝き続けることを願って、沢山の山の人たちが様々な分野で活動しておられます。本日の座談会に参加された3名の皆様の、自然体でありながら将来を見据えた取組は本当に素晴らしいものです。

一方、日本国中で人口減少と高齢化が進展しており、今までどお

りのやり方で地域の元気を守っていくことが難しくなってきました。日野郡では、集落を存続させる取組や地域の交通手段を存続させる仕組みづくりなど新しい挑戦が始まっています。

他方で、昨今はSDGsが世界中で注目され、日本の首相もアメリカ大統領も環境政策を最重要政策に掲げました。日野郡の皆様が美しい山並みや溪流を守ってきた取組の尊さをキチンと評価して頂き、地域の活性化につなげる仕組みができないものかと思っています。

日野振興センターは、これからも3町の役場や住民の皆様と一緒に日野郡の未来を拓くチャレンジを続けていきますので、どうぞお力添えをお願いいたします。